

使命、役割

部が浜松市民に果たすべき使命、役割

「緑」のもつ重要な役割を認識し、市内に残る貴重な緑地を保全するとともに、新たな緑の創出や都市防災機能の向上等を図るため、市民協働による公園や緑地、花壇等の積極的な整備と適正な管理に努めます。また、市民の憩いの場として、観光の拠点として、全国に誇り得る楽しい動植物園を創造します。

ビジョン

部が目指すべき将来像

花と緑豊かな快適空間の創造

私たちは、花と緑豊かな美しいまちづくりを推進し、都市景観の向上と快適な生活環境の形成に努めます。また、動植物とのふれあいを通し、子どもたちに夢を与えることができる楽しい動植物園を創出します。

経営方針

計画実行の方向性、進め方

市民協働による公園緑地行政の推進

市民参加による花と緑のまち・浜松の推進、緑地の保全、緑の基本計画の策定、公園の計画的な整備、公園の適正な維持管理、動物園の健全な運営など、市民協働型の公園緑地行政を推進し、市民ニーズを反映した快適な生活環境の形成に努めます。

市民(納税者)の視点	行政改革の視点
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民、事業者、行政のパートナーシップを確立し、協働による緑の取組みを推進します。 ▶ 公園や街路樹の愛護、花いっぱい事業などを担う「市民愛護団体」を育成し、市民参加による花と緑のまちづくりを推進します。 ▶ 市民ニーズにあった企画・教育部門を充実させ、「楽しみながら学ぶ動物園」を実現します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全ての事務事業・業務について、市民の立場に立ち、最少の経費で最大の効果が得られるよう見直しを図ります。 ▶ 管理している公園などについて、指定管理者制度の導入を積極的に行い、民間企業、NPO 市民団体などの経営資源や専門性を有効に活用し、民間活力の導入を図ります。 ▶ 動物園、緑化推進センターなどの経営資源をより効率的に活用し、新たな行政需要や市民ニーズ等に的確に対応していきます。 ▶ (財)浜松公園緑地協会や NPO 法人動物園協会などの市と関係のある団体の経営健全化を図ります。
財務・コストの視点	組織・人材の視点
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 視点を変えたアイデアと職員一人ひとりの努力で、動物園の入園者数の増加と増収を図り、無駄のない効率的な運営を行います。 ▶ 市民参加による花と緑の取組みを実施し、最小の経費で最大の効果を上げる予算の効率的執行を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民との協働による緑の取組みを実施するため、適切な判断や企画立案・調整能力を高める研修等を行い、職員の資質の向上に努めます。 ▶ 多様化する市民ニーズに対応するために、より一層の専門的知識を習得します。

経営資源 平成 21 年度の部の経営に要する資源

◆ 公園緑地部の組織

平成 20 年度	⇒	平成 21 年度
緑政課 緑化に関する事項		緑政課 緑化に関する事項
公園課 公園緑地に関する事項 (建設)		公園課 公園緑地に関する事項 (建設)
南部公園管理事務所 公園緑地に関する事項 (維持管理)		公園管理課 公園緑地に関する事項 (維持管理)
北部公園管理事務所 公園緑地に関する事項 (維持管理)		動物園 動物園に関する事項
動物園 動物園に関する事項		

◆ 職員数(平成 21 年度組織ベース) (人数)

公園緑地部職員	H20 年度	H21 年度
計	77	74
部長等	1	1
緑政課	12	13
公園課	17	16
南部公園管理事務所	10	—
北部公園管理事務所	6	—
公園管理課	—	14
動物園	30	30
派遣	1	—
再任用短時間職員	3	5
平成 20 年度⇒平成 21 年度 増減の理由		
▶ 組織の統合や事業の終結による減		

◆ 予算規模(平成 21 年度組織ベース) (千円)

公園緑地部予算	H20 年度	H21 年度
事業費	3,210,657	3,311,340
国庫支出金	321,300	428,000
県支出金	713	713
市債	510,700	614,300
その他	299,546	127,323
一般財源	2,078,398	2,141,004
人件費	624,000	605,400
正規職員(人工×8000千円)	616,000	592,000
非常勤(人工×2800千円)	2,800	5,600
再任用(人工×2600千円)	5,200	7,800
一般会計	1,746,112	416,985
他会計		
平成 20 年度⇒平成 21 年度 増減の理由		
▶ 公園整備事業(補助事業)の増、公園・緑地管理面積の増		
*事業費は、予算上の人件費を除いた金額		

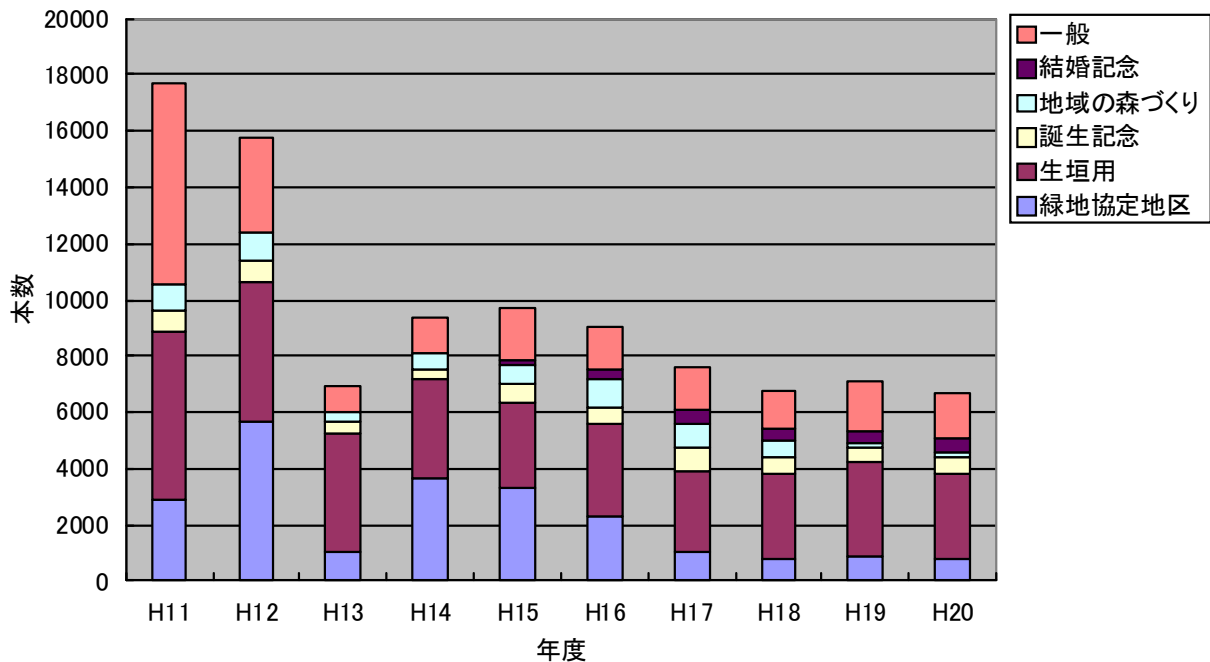
※職員数計には、嘱託、再任用は含まない。

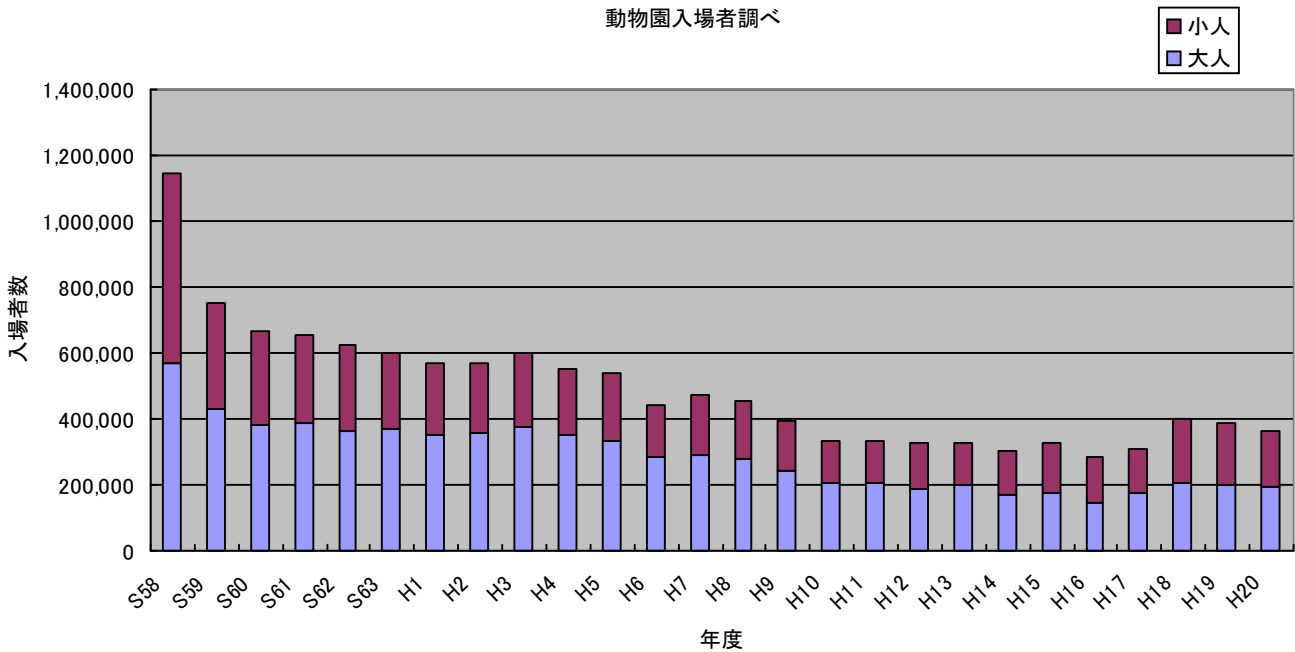
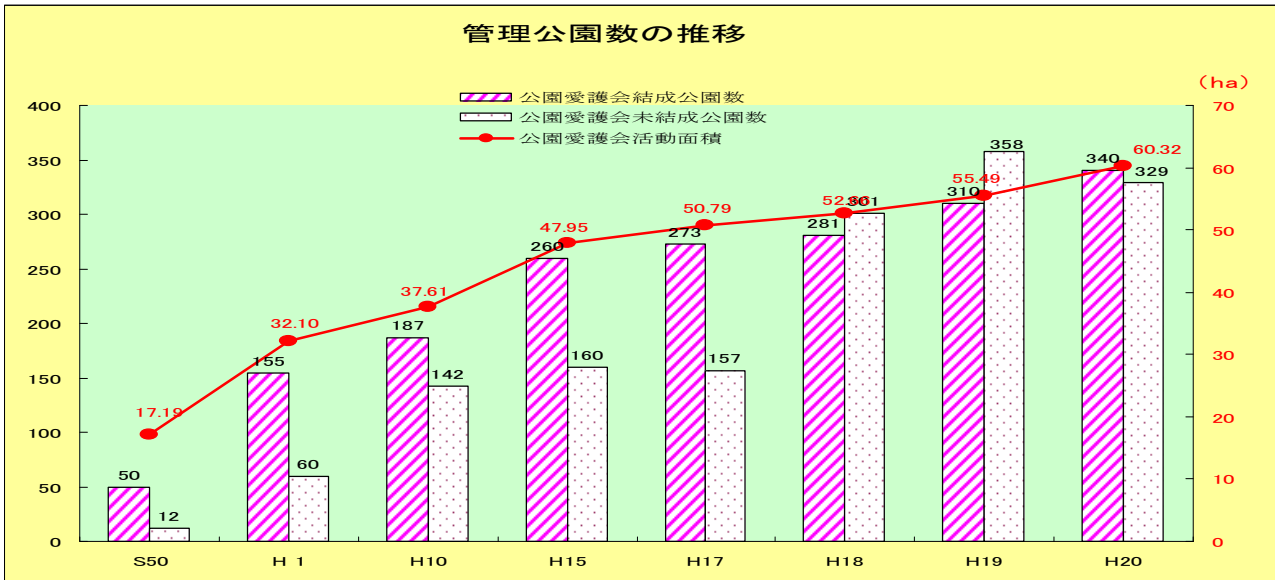
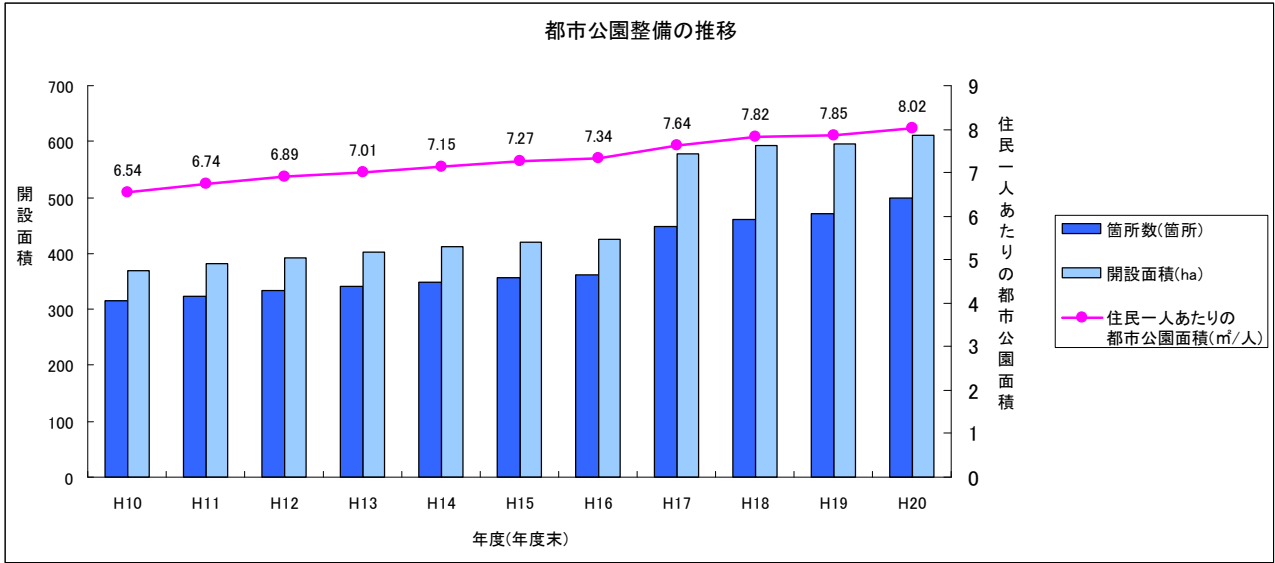
環境分析

社会経済環境の変化

	機会 (OPPORTUNITIES)	脅威 (THREATS)
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化の防止に対する理解が進み、都市緑化の重要性が認識されるようになってきました。 ガーデニングや家庭菜園など花や緑を生活に取り入れる暮らしが定着してきました。 阪神淡路大震災や想定される東海地震などにより、防災拠点づくりの必要性が認識されるようになってきました。 景観緑三法の改正により公園緑地行政の取組みが容易となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者のモラルの低下が見られます。 犯罪が多発する中、公園内における犯罪の発生が危惧されています。 街路樹や公園樹木の肥大化や民地への侵入、病害虫への薬剤使用に対する規制の強化などにより、それらの管理が難しくなっています。
内部環境	<p>強み (STRENGTHS)</p> <ul style="list-style-type: none"> 浜松地域における花卉園芸・緑化樹木の生産は全国でも上位にランクされています。 浜名湖花博が開催され入場者 544 万人、会場市民ボランティア延べ約 25,000 人が活動に参加し、花や緑に対する意識が高まりました。 花いっぱい運動など「市民団体」による活発な活動が行われています。 花のボランティア団体、公園愛護会など「市民愛護団体」による活発な活動が行われています。 気候温暖な浜松地域には、多様な植物が生育します。 	<p>弱み (WEAKNESSES)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業都市としての発展に伴い、宅地等の開発が進行し、市街地の貴重な緑が失われつつあります。 子供たちの遊びの多様化や少子化による児童生徒の減少により、公園を利用する子供たちが減少しています。 老朽化した施設や多様化した市民ニーズに対応できない施設が多くなりました。 公園の満足度調査の結果、快適性や安全性に不満の意見が多くあります。 歩道が狭く、街路樹や花を飾るオープンスペースが減少する傾向にあります。

樹木交付本数





政策体系 総合計画体系

<都市の将来像>

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

<政策の柱>

<分野>

多彩な魅力に出会える快適空間都市

都市・生活基盤分野

<基本政策>

<部>

花と緑豊かな快適空間の創造

公園緑地部

<政策(重点事業)>

<課>

花と緑豊かな美しいまちづくりの推進

緑政課

- ▶緑の基本計画策定事業
- ▶花と緑のまち・浜松推進事業
- ▶緑地保全事業
- ▶保存樹木・樹林助成事業
- ▶民有地緑化事業
- ▶市街化区域内農地緑化保全事業

市民に親しまれる公園緑地の整備

公園課

- ▶公園整備事業

安心・安全な公園施設の提供

公園管理課

- ▶愛護会育成事業
- ▶公園施設運営管理事業
- ▶街路樹育成管理事業
- ▶人にやさしい公園づくり事業

市民に親しまれる動物園の経営

動物園

- ▶入園者対策事業

目標 ビジョン実現に向けての目標値<平成 22 年度を目途とする指標>

指標	目標				
	実績				
	H18	H19	H20	H21	H22
1 花と緑のまち・浜松の推進 備考：花と緑に関するボランティア活動会員数	— 8,341 人	8,000 人 8,398 人	8,500 人 8,774 人	9,000 人 9,083 人	9,500 人
2 緑地の保全 備考：緑地保全、市民の森、保存樹木等の指定面積	— 80.23ha	81.0ha 80.2ha	81.5ha 80.68ha	82.0ha 81.04ha	82.5ha
3 民有地緑化の推進 備考：樹木交付本数	— 382,052 本	390,000 本 390,939 本	400,000 本 399,529 本	410,000 本 411,363 本	420,000 本
4 公園整備事業の推進 備考：市民一人当りの公園面積	— 7.82 m ²	7.89 m ² 7.85 m ²	7.93 m ² 8.02 m ²	7.95 m ² 8.08 m ²	8.00 m ²
5 みんなでつくる公園事業の推進 備考：市民による公園への植樹	— 127 本	60 本 127 本	60 本 71 本	60 本 48 本	60 本
6 公園施設改良の推進 備考：公園施設の改良整備箇所	— 29 公園	40 公園 43 公園	40 公園 42 公園	40 公園 43 公園	40 公園
7 愛護会活動の推進 備考：愛護会活動参加人数	— 72,000 人	74,000 人 81,800 人	76,000 人 84,900 人	87,000 人 87,000 人	89,000 人
8 動物園の入園者対策 備考：入園者数	— 400,408 人	425,000 人 387,432 人	430,000 人 361,147 人	440,000 人 454,071 人	450,000 人
9 教育事業の推進 備考：実施回数	— 180 回	165 回 262 回	170 回 252 回	260 回 214 回	220 回

重点事業

目標達成に向けて重点的に取り組む手段

①緑の基本計画策定事業	所管名	緑政課
《事業概要》	平成 21 年度予算	4,100 千円
緑化推進や緑地保全、公園整備などに関わる今後 10 年間の目標と実施計画を示す総合的な計画を策定します。		
市戦略対象事業	マニフェスト対象事業	
《事業成果》	平成 21 年度決算	4,082 千円
<p>平成 21 年度は、パブリックコメント等を経た基本計画（案）について、修正案を計画策定委員会に諮った後に、都市計画審議会や景観審議会、また市議会への報告を行い、平成 22 年 4 月 1 日施行に向けて基本計画をまとめました。</p> <p>緑の基本計画では、「みどり生活を愉しむまち・浜松」を計画の目標に掲げ、以下の 4 つの基本方針を定めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生存基盤であるみどりを保全・整備し、みどりをつなぐネットワークを形成します ・みどりによって個性的で魅力あふれるまち浜松を育成します ・みどりによって環境関連産業の振興や経済の発展を促進します ・みどりを活かした豊かな暮らしを創造します 		
②花と緑のまち・浜松推進事業	所管名	緑政課
《事業概要》	平成 21 年度予算	94,257 千円
花博によって築かれた有形無形の資産を継承・発展させ、市民との協働で花と緑あふれるまちづくりを推進します。		
市戦略対象事業	戦略 6	マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	83,201 千円
<p>「花と緑のまち・浜松」推進市民協議会が「花と緑のまち・浜松」の実現に向けて、活動内容、役割分担、目標数値、目標達成期限を定めた「活動指針」を基に、行政と市民との協働により各種取り組みを推進しました。</p> <p>市は、普及・啓発事業として、花と緑の各種啓発イベントを実施するほか、オープンガーデン等の市民活動を支援し、花づくり支援事業では、地域ごとに特色のある花づくりを支援する地域の花づくり支援事業や公民館等を花で飾る花いっぱいコミュニティ事業のほか、沿道花飾りを実施する花いっぱい運動事業を進めました。</p> <p>また、花壇等拠点整備事業として、市役所本庁舎をはじめ、JR浜松駅周辺、主要幹線道路、地域拠点等にシンボル花壇を設置し、花壇及びフラワーポット等の維持管理を実施するほか、モザイクカルチャー世界博にあわせランドマーク的なシンボル花飾りを実施しました。</p>		
③緑地保全事業	所管名	緑政課
《事業概要》	平成 21 年度予算	47,096 千円
平地林や斜面林といった樹林地や草地、水辺等の都市に残された貴重な緑地の保全を市民、行政が一体となって推進します。		
市戦略対象事業	戦略 3	マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	45,429 千円
<p>貴重な緑を次代に引き継ぐため、「浜松市緑の保全育成条例」に規定する市民の森について、指定及び指定区域に関する維持管理費としての報償金（年額 40 円/㎡）を土地所有者に交付するとともに、「高林住吉地区」の市民の森指定区域において、新たに 2,014 ㎡を買取ることにより緑地保全を図ることとしました。</p> <p>また、貴重な動植物が生息し、佐鳴湖に流入する湧水と緑豊かな自然環境を有する「富塚椎ノ木谷地区」では、都市緑地法の特別緑地保全地区として、市民との協働により維持管理を進めました。</p> <p>このほか、風致地区や自然公園区域内において、都市の風致景観の維持を図るため、建築制限や緑化指導を行いました。H21 年度の緑地等の指定状況は、市民の森 33.1ha、特別緑地保全地区 6.7ha です。</p>		

公園緑地部戦略計画 2009 評価レポート

④保存樹木・樹林助成事業	所管名	緑政課
《事業概要》	平成 21 年度予算	5,724 千円
所有者又は管理者の同意を得た指定地について、指定標識を設置すると共に、維持管理費として報償金を交付します。		
市戦略対象事業	戦略 4	マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	5,545 千円
貴重な緑を次代に引き継ぐため、保存樹木・保存樹林・景観重要樹木の指定とともに、維持管理費として報償金を交付し、また、地域に親しまれている名松を松くい虫などの被害から守り樹勢回復を図るため助成金(樹幹注入経費の一部)を交付しました。H21 年度の緑地等の指定状況は、景観重要樹木 1 本、保存樹木 68 本、保存樹林 73 箇所 41.2ha、名松については 9 箇所 205 本を保護することができました。		

⑤民有地緑化事業	所管名	緑政課
《事業概要》	平成 21 年度予算	14,720 千円
緑豊かなまちづくりを推進するため、生垣用樹木、屋上や壁面緑化、緑のカーテン用植物、緑地協定地区用樹木、誕生・結婚等記念樹の交付や、事業所緑化に必要な樹木等植栽費用の一部を助成します。		
市戦略対象事業		マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	13,446 千円
<p>緑の助成制度は、市民自らが都市緑化に取り組もうとする契機として広く活用されており、生垣用、緑地協定用、屋上や壁面緑化用、各種記念樹用、公共的な場所等への植樹用樹木や、緑のカーテン用資材等の交付を行うほか、工場等の事業所に対して、浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱に基づく緑化指導に当たるとともに、事業所緑化に要する樹木等の資材費用の一部を助成しました。樹木交付では、生垣用樹木 4,860 本、一般樹木 1,565 本、緑地協定用樹木 244 本、地域の森づくり事業 240 本、誕生記念樹 581 本、結婚記念樹 473 本を、また、屋上・壁面緑化 5 件に交付し、事業所緑化では 3 事業所に助成金を交付し、33,922 本(低木 1/3 換算後 3,847 本)の植樹が施工されました。</p> <p>豊岡苗圃では、各種樹木交付制度の樹木の交付業務とともに、購入樹木のストックヤード、屋上緑化用の地被植物の育成など、苗木や資材等の安定供給を図りました。苗圃は、約 6,000 ㎡の土地に、圃場 2,642 ㎡(育苗 1,155 ㎡・定植床 1,487 ㎡)を有し、約 36,700 育苗、約 1,000 本(316m)の生垣などを有しています。</p>		

⑥市街化区域内農地緑化保全事業	所管名	緑政課
《事業概要》	平成 21 年度予算	30,481 千円
生産緑地地区の指定や管理を行うとともに、遊休農地の活用策として特定市民農園を開設し、市街地の緑地として保全を図ります。		
市戦略対象事業		マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	28,509 千円
<p>市街化区域内農地の宅地並み課税に対する支援策として、また、同時に都市の貴重な緑のオープンスペースとして市街化区域内の農地を次世代に残すため、生産緑地地区の指定や特定市民農園の開設及び維持管理を行いました。</p> <p>生産緑地地区の指定・管理では、平成 21 年度末で指定済 91 箇所 10.72ha の市街地に残る緑地を次代に残すことができ、また、特定市民農園の設置・管理では、平成 21 年度に新たに 4 箇所の市民農園用地を確保し、平成 19 年度からの計 11 箇所、総計 175 区画、総面積 12,407 ㎡の市民農園を提供するに至りました。</p>		

公園緑地部戦略計画 2009 評価レポート

⑦公園整備事業<浜松城公園整備事業>	所管名	公園課
《事業概要》	平成 21 年度予算	46,000 千円
浜松城公園の歴史ゾーンの整備を行うための試掘・発掘調査、体育館跡地整備を進めます。		
市戦略対象事業	マニフェスト対象事業	
《事業成果》	平成 21 年度決算	44,343 千円
<p>体育館跡地を利用したの暫定整備において、駐車場 117 台(乗用車 109 台・身障者用 4 台・思いやり 4 台・大型バス 14 台・マイクロバス 4 台)を配置し、区域東側には芝生広場 3,856 m²を施工しました。</p> <p>これらにより、公園利用者及び浜松城天守閣入場者が大幅に増加しました。</p> <p>また、歴史ゾーン内の天守門・富士見櫓跡地の発掘調査を行い、これらを復原する多くの資料が発掘されました。</p>		

⑧公園整備事業<都市公園の整備>	所管名	公園課
《事業概要》	平成 21 年度予算	(886,011) 719,300 千円
馬込川公園、佐鳴湖公園、名塚公園のほか 6 公園等の整備を進めます。		
市戦略対象事業	戦略 3	マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	718,900 千円
<p>都市公園事業を推進することにより、7 公園約 5.5ha(55,207.50 m²)を開設し、市民が憩い・やすらぐ場など安全で安心な公園を提供することが出来ました。この結果、市民一人当たりの公園面積は、平成 20 年度の 8.02 m²から、平成 21 年度は 8.08 m²となりました。</p>		

⑨公園整備事業<天竜川鹿島上島緑地整備事業>	所管名	公園課
《事業概要》	平成 21 年度予算	30,000 千円
国が整備した天竜川河川敷を利用した公園緑地の整備を進めます。		
市戦略対象事業	マニフェスト対象事業	
《事業成果》	平成 21 年度決算	30,000 千円
<p>天竜川河川敷を利用して公園区域約 7.6ha(全 6 エリア)のうちの第 1 エリアについて、多目的広場 1.2ha を造成し、その一部に芝生広場 0.33ha を整備しました。今後引き続き、残りの部分について整備を進めてまいります。</p>		

⑩愛護会育成事業	所管名	公園管理課
《事業概要》	平成 21 年度予算	19,370 千円
公園や街路樹の除草清掃活動を市民協働で行うため、地元住民による愛護会の結成や育成について支援します。		
市戦略対象事業	マニフェスト対象事業	
《事業成果》	平成 21 年度決算	18,765 千円
<p>公園愛護会は、市民の身近にある公園を中心に、主に新規開設公園をターゲットに愛護会の結成を働きかけ、28 団体が結成されました。(平成 21 年度末 311 団体)</p> <p>街路樹愛護会は、街路樹に面した地域を中心に愛護会の結成を働きかけ、3 団体が新規結成されました。(平成 21 年度末 44 団体)</p> <p>愛護会の結成により、市民の共有スペースとしての公園や美しい都市景観を形成する街路樹への理解や関心が高まるとともに、地域住民の連携が生まれ、市政運営の基本方針である「共生共助でつくる豊かな地域社会の形成」の促進に貢献しました。また、草刈、清掃等維持管理費の節減が図られました。</p>		

公園緑地部戦略計画 2009 評価レポート

⑪公園施設運営管理事業	所管名	公園管理課
《事業概要》	平成 21 年度予算	276,522 千円
公園内の貸出施設の利用率向上を図るとともに、指定管理者による運営管理を推し進め、民間活力による市民サービスの向上に努めます。		
市戦略対象事業	マニフェスト対象事業	
《事業成果》	平成 21 年度決算	268,522 千円
民間事業者への委託(指定管理者制度を含む)により、安全で快適な公園の提供、健康福祉の増進や生活文化の向上を図るとともに、市民共有の憩いの場を提供することができました。		

⑫街路樹育成管理事業	所管名	公園管理課
《事業概要》	平成 21 年度予算	452,087 千円
国県道や市道に植栽してある街路樹の高木を中心に健全な育成管理を行い、緑豊かな沿道景観を提供します。		
市戦略対象事業	マニフェスト対象事業	
《事業成果》	平成 21 年度決算	451,072 千円
国県道 40 路線と市道 544 路線にある街路樹を管理し、緑豊かな道路空間を市民に提供しています。街路樹剪定を年1回、除草を年3回から4回実施して樹木の良好な育成を図るとともに、周辺環境との調和を図りつつ景観に配慮した道路空間を形成しました。		

⑬人にやさしい公園づくり事業	所管名	公園管理課
《事業概要》	平成 21 年度予算	20,000 千円
高齢者や身障者などが公園を利用しやすいように園路改修やトイレ改修など、公園のユニバーサルデザインを進めます。		
市戦略対象事業	戦略 3	マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	20,000 千円
多くの人々に利用される公園は、安全安心で快適な施設であることが求められることから、和地山公園の園路改修と三方原緑地のトイレ改修を実施しユニバーサルデザイン化を図りました。		

⑭入園者対策事業	所管名	動物園
《事業概要》	平成 21 年度予算	58,824 千円
動物園に求める社会のニーズが多様化する中で、入園者の目線に立った運営を目指します。施設整備計画に基づく展示施設や市民に人気の高い「動物とのふれあい」等の各種イベントを充実し、併せて浜名湖立体花博の開催を通して、積極的に園のPR活動を展開することにより、入園者の増加を図ります。		
市戦略対象事業	マニフェスト対象事業	
《事業成果》	平成 21 年度決算	39,837 千円
<p>入園者数は454,071人、教育活動実施回数は214回、繁殖動物はクロヒョウ1頭・アミメキリン1頭ほか23点、研究発表はホッキョクグマの死亡報告などのほか2回開催しました。</p> <p>また、教育活動では、動物に備わった生態・行動・生理・生息環境などの情報を小中学生に感動と理解を持って伝え、多くの児童生徒から自然の大切さや守るべきものについて共感できたとの感想をいただきました。特に、佐鳴台小学校の6年生は「動物園の役割」についての学習成果をまとめ、地域住民や保護者を招待した校内発表会で当園の希少動物であるゴールデンライオンタマリンなどを例にして種の保存を発表するなど、大きな教育面での効果がありました。</p> <p>その活動内容は、動物学習会(20回838人)、動物園での飼育体験(16回21人)、ウサギとのふれあい活動(98回13,509人)、遠足イベント((カンガルー・ペンギンの餌やり、ゾウ・キリンとの記念写真、ウサギのふれあい)80回4,123人)でありました。</p> <p>このほか、浜名湖立体花博入場者のうち114,264人が入園し、園のPR活動を展開しました。</p>		

公園緑地部戦略計画 2009 評価レポート

【参考】			
<p>◆市戦略計画 2009</p> <p>戦略 1 アジアで一番輝くものづくり都市の創造</p> <p>戦略 2 地域力を結集して取り組む“こども第一主義”</p> <p>戦略 3 暮らし満足度向上計画</p> <p>戦略 4 次世代に継承する天竜川・浜名湖の自然</p> <p>戦略 5 文化が都市の活力を生む「創造都市」の実現</p> <p>戦略 6 世界を身近に感じる交流都市づくり</p>	<p>◆マニフェスト(市長の政策提言)</p> <p style="text-align: center;">(3つの基本姿勢) (7つの挑戦)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>I こども第一主義</p> <p>II 暮らし満足度向上計画</p> <p>III 07 浜松改革元年</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1 子育て世代を全力で応援</p> <p>2 地域一体の教育で未来の浜松をつくる</p> <p>3 住みやすさナンバーワンの「ひとつの浜松」</p> <p>4 安全・安心の医療と介護</p> <p>5 スピードある行財政改革で必要な財源をつくる</p> <p>6 地元産業のさらなる発展を市長みずから先頭に立つ</p> <p>7 トップが動く、浜松が変わる</p> </td> </tr> </table>	<p>I こども第一主義</p> <p>II 暮らし満足度向上計画</p> <p>III 07 浜松改革元年</p>	<p>1 子育て世代を全力で応援</p> <p>2 地域一体の教育で未来の浜松をつくる</p> <p>3 住みやすさナンバーワンの「ひとつの浜松」</p> <p>4 安全・安心の医療と介護</p> <p>5 スピードある行財政改革で必要な財源をつくる</p> <p>6 地元産業のさらなる発展を市長みずから先頭に立つ</p> <p>7 トップが動く、浜松が変わる</p>
<p>I こども第一主義</p> <p>II 暮らし満足度向上計画</p> <p>III 07 浜松改革元年</p>	<p>1 子育て世代を全力で応援</p> <p>2 地域一体の教育で未来の浜松をつくる</p> <p>3 住みやすさナンバーワンの「ひとつの浜松」</p> <p>4 安全・安心の医療と介護</p> <p>5 スピードある行財政改革で必要な財源をつくる</p> <p>6 地元産業のさらなる発展を市長みずから先頭に立つ</p> <p>7 トップが動く、浜松が変わる</p>		

部局総合評価

指標の達成状況評価と戦略計画の改善策

目標達成状況(指標の平成 21 年度目標達成状況)				
	目標より進んでいる	目標どおり	目標より遅れている	計
指標数	5	1	3	9
率(%)	55.6	11.1	33.3	100
《自己評価》(目標達成状況についてどのように考えるか)				
<p>大変厳しい財政状況の中にもありながらも、ビジョン実現のための目標値達成に向けて、概ね順調に事業を展開しており、一定の評価ができるものと考えています。</p> <p>また、公園緑地行政で基本に据えている市民協働については、花と緑によるまちづくり、公園の整備、公園緑地等の育成・管理のそれぞれの面において、市民の理解度も高くなりつつあると評価しています。</p> <p>なお、各目標値の設定は、現下の社会情勢から見て、市民ニーズに即応したものと評価するものでありますが、動物園については、モザイクカルチャー世界博覧会の開催による誘客効果もあり入園者数の増加を見たものの、県内外の類似施設と比較して、施設の老朽化の進行・施設整備の遅れが市民要望等にも現れており、ソフト事業の強化とともに今後の大きな課題と捉えています。</p> <p>目標より遅れている指標のうち、緑地の保全是、市民の森・保存樹林とも指定面積は増加したものの目標に届かず、みんなでつくる公園事業も、計画通り事業を進めたものの、参加者が予想に反して少なかったことから、事業・制度の周知方法の検討が必要と考えています。なお、教育事業の推進については、これまで順調に推移してきましたが、平成 21 年度は、モザイクカルチャーの実施・協力に伴い、開催イベントの一部を取り止める等の対応を要したことから目標を下回る結果となりました。</p>				

今後の考え方(評価を踏まえた戦略・政策についての改善の方針)

平成 22 年 4 月に施行した「浜松市緑の基本計画」のもとで、水環境を含んだ多様な環境を「みどり」として、みどりを介した様々な市民活動や、みどりとともにある豊かな市民生活の実現に向けて、みどりの適切な保全・育成・整備を進めてまいります。

また、市民協働による公園整備をさらに推進し、公園愛護団体等の育成強化を図るとともに、公園施設等の管理にあたっては、安全で安心して快適に利用できるよう管理運営の一層の充実と施設の長寿命化に向けて取り組みを進めます。

具体的な施策展開については、目標値は概ねこれまでの指標を踏襲するものの、緑地保全是担保性の強い地域制緑地へ段階的に移行し、また、公園整備についてはより幅広く市民ニーズを把握する中で、地域コミュニティ形成の場、防災対策の場ともなる、より良いみどり環境の創出に努めてまいります。さらに、公園緑地の育成・管理については、市民協働による管理の推進はもとより、利用者モラルの啓発などにより、市民に愛され親しまれる、安全・安心で快適な公園緑地空間を提供してまいります。

動物園については、はままつフラワーパークとの連携も含め、市民が楽しめるエリアとして、創意と工夫を凝らした様々なイベントの企画・開催、動物とのふれあいの場を提供するとともに、動物の魅力を引き出す行動展示施設や休憩施設などの整備を進めます。また、明日の地域を担う子どもたちの未来のために、「生命(いのち)の大切さ」というメッセージの発信拠点として教育事業を充実し、施設の意義を深めると同時に魅力度の向上を図ってまいります。

※地域制緑地とは、法制度等に基づいて保全された緑地であり、「法によるもの」「協定によるもの」「条例によるもの」に区分される。法によるものとしては、特別緑地保全地区、緑地保全地域、風致地区などがある。協定によるものとしては、緑地協定、景観協定で緑地に係る事項を定めているものなどがある。条例等によるものとしては、条例・要綱・契約・協定等による緑地の保全地区や緑化の協定地区、樹林地の保全契約、協定による工場植栽地、等となる。